



# オムソーリ

医療法人社団洋精会  
社会福祉法人宝生会

Vol.2

2011年5月26日発行

URL : <http://numaog.or.jp/>

◇沼尾病院

◇特別養護老人ホーム敬祥苑

◇老人保健施設白楽園

◇グループホームカトレア

## 小規模多機能型居宅介護よしのいえ



玄関



全景



宿泊室



理事長  
沼尾 成美

## 「よしのいえ」開設にあたって

医療法人社団洋精会  
社会福祉法人宝生会

長年の思考は遺言として引き継ぎましたが、漸くみんなの力で実現し、地域密着型サービスとして活用できることは嬉しい 것입니다。

ご協力頂いた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

はじめに、このたびの東日本大震災により被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

幸い洋精会、宝生会ともに人的被害はなく全員無事に避難できました。

その際には、居合わせたご家族の方々にも積極的にご協力をいただき有り難うございました。

さて、22年度の洋精会新規事業計画として立ち上げた小規模多機能型居宅介護「よしのいえ」がお陰様で23年4月1日より開設いたしました。

沼尾病院創立者である義父母（故沼尾義精先生・よしえ夫妻）の民家を改修しての造りは、趣のある機能的な佇まいとなりました。

計画の準備に至つては、在宅総合センターの職員を中心にプロジェクトチームを作り、懸命に向き合つてくれました。翁先生宅を利用しての登案は、亡き夫沼尾嘉時前理事長の生前からのお考えによるものでした。

「地域のために何か役立てたい」と云う

ご利用される一人ひとりの地域の暮らし方を尊重しながら取り組んで参ります。「通い」を中心に、ご利用者の二十四時間の生活を支え、必要に応じて「宿泊」「訪問」機能を行うことで在宅生活の継続を支援いたします。

被災地はもとより各地で不安な日々が続いていますが、私たちにできる協力を常に考えながら、取るに足りない不便は喜んで受けたいと思いました。

苦難の時こそ分かち合いの精神=オムソーリ（人間愛）の当法人理念を肝に銘じて行動したいと思います。

これからも沼尾グループでは、時代の要請に応えるサービス提供体制を整えらるよう、鋭意努力して参りますのでご指導、ご支援のほどお願いいたします。

## 前理事長 沼尾嘉時先生との思い出

医療法人社団洋精会監事  
川原経営グループ  
薄井 照人 常務取締役

薄井 照人  
常務取締役

私は、前理事長沼尾嘉時先生（以下、嘉時先生とさせていただきます）と大きな思い出が二つあります。一つは、平成17年4月弊社創業者の川原邦彦（以下、先代とさせていただきます）が逝去した時のことです。その年の6月にグループをあげて社葬を行いました。私たちは迷わず、先代と仲が良かつた嘉時先生に弔辞をお願いいたしました。嘉時先生も快くお引き受けくださり、感動的な弔辞をくださいました。この時に嘉時先生は闘病中であつたと聞き、大変申し訳なく思っています。また先代の追悼誌にもご寄稿いただき、嘉時先生と弊社との関係は、新代表川原丈貴となつてからも良好に続していくと思つていました。

そんな中である日、現理事長から携帯にお電話をいただきました。忘れもしません、先代から引継いだ岡山の川崎医療福祉大学の講義のため行つて岡山空港でのことでした。嘉時先生が入院されたので、病院に来て欲しいという内容でした。入院される直前まで診察をされていました。嘉時先生とさしていただきます。ごとに進み、嘉時先生とさしていただきます。この通りです。

その後、特定医療法人社団洋精会の監事をさせていただきながら、毎月管理者会議にも出席させていただいています。少しでも先代がお世話になつたことに対しても恩をお返し出来ればという思いです。また皆様もご存知の通り、嘉時先生亡き後も沼尾グループは福祉施設も含めて現理事長はじめご家族のそして院長はじめ職員の方々が各施設をまもられ一層の発展を遂げています。「オムソーリ」使命・理念が無くなることは無いと実感できる思い出です。

当時は、今では考えられませんが、自分の親を施設に入れるなど恥ずべきことであり日本に馴染むものではない、と考える方が大半でした。しかし、義精先生や特に嘉時先生は今こそ必要な精先生や特に嘉時先生は今こそ必要なのだ、との強い信念をもつて計画を進められました。誠に隔世の感がありますが、今や我国にとつて高齢者対策は最重要且つ必須の福祉施策であり、現リハビリテーションはその殆ど全てのサービスを提供しております。正に両先生及び成美現理事長の卓越した先見性によるものと言えるでしょう。

ですから、その軌跡を辿れば我国高齢者福祉政策の変遷が見えできます。別養護老人ホームは、郊外の敷地千坪以上の土地に平屋建てが原則でした。その後デイサービスや在宅介護が重視され、医療との中間施設として老人保健施設白楽園が設置される頃には、都市部での設置や多層階の建物も認められ、機能回復訓練はより一層必要とされました。増え続ける認知症の方のお世話をするのが、少人数単位のグループホームカトレアです。又一時期ユニット方式がしきりに言われました。これは個人の尊厳を尊重した個室中心の施設ですが、介護の困難さや孤独感が問題とされています。一方この度開設したよしのいえは個室対応とともにアツ

敬老院開設の頃、終の棲家としての特別養護老人ホームは、郊外の敷地千坪以上の土地に平屋建てが原則でした。

## 設計を通して思うこと

社会福祉法人宝生会評議員  
(有)藤原設計事務所々長

藤原 宏史  
藤原 宏史



ホール



玄関

居間兼宿泊室



木立 三枝  
管理者

### 小規模多機能型居宅介護 よしのいえ

#### よしのいえのご案内

どこでも、だれにでも笑顔で接し、住み慣れた場所で穏やかに過ごす事が出来る環境を提供します

- ・一人ひとりの気持ちによりそいます。
- ・一緒にいる時間を大切にします。
- ・居心地のよい居場所と一緒に作ります。

事業内容は、「通所」を中心に、利用者の様態や希望に応じて、随時「訪問」や「泊り」を組み合わせサービスを提供することで、在宅での生活継続を支援する小規模の拠点です。

本年4月1日、介護保険の地域密着型サービスとして、「小規模多機能型居宅介護事業所よしのいえ」を沼尾病院の東側に開所致しました。住み慣れた地域で最後まで暮らし続けたいと願う昭和・戸祭地区の住民の皆さんを主に、「第2の我が家」として親しんでいただけるよう初代理事長宅を改築し、和風の落ち着いた雰囲気の住宅にしました。

よしのいえは医療法人社団洋精会の理念である地域におけるオンリー・ワンを追求し、Omsorg（オムソーリ）の理念と共に一歩でも前に進みます。

（人間愛）の精神のもと利

用者様とバランスのとれた人間関係を築くため下記3つの理念に沿って事業運営していきます。

地域と共に一歩でも前に進みます。



リハビリスタッフ

### 老人保健施設 白楽園

#### 訪問リハビリテーション始めました

白楽園では、在宅部門の充実・強化として、平成23年5月1日より、「訪問リハビリテーション」を開始いたしました。

在宅の住み慣れた環境下でリハビリテーションを受け、自身の住環境に適したリハビリテーションを提供いたします。

リハビリスタッフも、理学療法士4名、作業療法士1名、言語聴覚士2名と充実しており、協働で個々にあった個別の計画を作成し、最適なメニューを実施します。

今後とも皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



通所リハビリ全景

『訪問リハビリテーション』の対象者は、主に通院・通所が困難なご利用者となります。左記にお困りの方は、まず一度ご相談ください。

○退院をしたが、家で動けなくなってしまった。

○通所に通いたいが自信がない。○家から出る体力が無い。でも、寝たきりにはなりたくない。

○腰や膝の痛みで動く機会が減った。

○専門的なりハビリを受けたい。

また、従前からの『通所リハビリテーション』においても、平成23年4月1日より、定員30名から40名に増員し、皆様のニーズにより多く応えていきたい所存です。

これからも、白楽園は『入所』での療養生活から在宅生活の支援・援助まで、幅広く皆様のご要望に応じていきたいと考えております。これからも宜しくお願い申し上げます。

医療法人社団洋精会監事  
川原経営グループ  
薄井 照人 常務取締役

薄井 照人  
常務取締役

おり、結果的に歩くことが困難になつて入院されたと後日聞きました。  
弊社代表と一緒に病院にお伺いすると、開口一番「私が亡き後、このように進めたいくと思うがどうだろうか」と仰られました。ご自分のノートに考えられていた事をまとめられていて、まるで他人のお話をされているのかと思うほど淡々と説明していました。

各施設のこと、ご家族のこと、職員のこと。本当にきめ細やかな配慮がされた内容でした。私たちも先生のお気持ちに応えるべく、冷静に説明をお聞きしてメモを取つて、記憶していく。しかし、その時間もそう長くは続かず、少しお疲れになつてきたようなので失礼することとしました。その時の嘉時先生の言葉が忘れられません。「もう会えることは無いと思いますが、よろしくお願ひします」と仰られました。私たちも言葉が

詰まり、涙を堪えるのが精一杯で励ます言葉も見つからなかつたと記憶しています。これが二つ目の大きな思い出です。その後、特定医療法人社団洋精会の監事をさせていただきながら、毎月管理者会議にも出席させていただいています。少しでも先代がお世話になつたことに対しても恩をお返し出来ればという思いです。

また皆様もご存知の通り、嘉時先生亡き後も沼尾グループは福祉施設も含めて現理事長はじめご家族のそして院長はじめ職員の方々が各施設をまもられ一層の発展を遂げています。「オムソーリ」使命・理念が無くなることは無いと実感できる思い出です。

当時は、今では考えられませんが、自分の親を施設に入れるなど恥ずべきことであり日本に馴染むものではない、と考える方が大半でした。しかし、義精先生や特に嘉時先生は今こそ必要な精先生や特に嘉時先生は今こそ必要なのだ、との強い信念をもつて計画を進められました。誠に隔世の感がありますが、今や我国にとつて高齢者対策は最も重要な施策であり、現リハビリテーションはその殆ど全てのサービスを提供しております。正に両先生及び成美現理事長の卓越した先見性によるものと言えるでしょう。

今我国は東日本大震災によって未曾

に見た困難に直面しています。その再興

は個人の尊厳を尊重した個室中心の施

設ですが、介護の困難さや孤独感が問

題とされています。一方この度開設し

たよしのいえは個室対応とともにアッ

トホームな家庭環境の中で過ごして頂

れます。これは嘗ての義精先生御夫婦

の御住居を改修したもので、個人の尊嚴を守りながら人と触合いを即す

ト方式がしきりに言われました。これ

は個人の尊厳を尊重した個室中心の施

設ですが、介護の困難さや孤独感が問

題とされています。一方この度開設し

たよしのいえは個室

# 沼尾病院

東日本大震災を経験して  
古谷 耕資郎  
院長

療・介護のたいせつさが実感されました。また避難訓練をはじめとして、日ごろから緊急事態への備えが大切であることも教えられました。

これから長い期間、目に見えない脅威「放射線」と、同じ規模もしくはそれより大きくなるかもしない余震への備えが必要になります。気を引き締めて対応していきます。

## 4月より担当として

並木 賢司  
診療部長

2011年3月11日、世界の歴史上はじめて、東日本は地震・津波災害とレベル7という深刻な原発事故に相次いで被災しました。震災当日、沼尾病院では多くの職員が勤務中でしたので、30分ほどで95名の入院患者さんを全員駐車場に避難できました。ほとんどが寝たきりで重度の患者さんばかりですが、全員無事避難を終えました。給湯パイプが破損して床が水びたしになつたため、建物の安全を確認し、給湯バルブを閉めて床ふきを終えた後に全員を部屋に戻し、さらに夕食を提供することができます。それができたのは、病院職員が一丸となって対応した結果でした。

大震災によって、電気がなければ何もできない脆弱な社会が露呈しました。高度に機械化された医療や介護が困難となり、人の手を介した医療・介護のない時代を向かうことを願っています。

平成20年6月から、沼尾病院の医師1名が、交代で老人保健施設白楽園施設長として、派遣される様になりました。それに伴い、平成21年4月から2年間、白楽園の施設長として勤務致しました。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

## 新任看護部長として

小山 利子  
看護部長

平成23年4月1日、医療法人社団洋精会沼尾病院看護部長に就任致しました。おそらく、私の看護管理者としての集大成の病院であると思っております。

通所リハビリテーションを提供するにあたって  
坂入 一樹  
相談員

私は相談員という役割から、施設見学にいらっしゃった方の対応をする事が多いのですが、その際に「どうぞお見えください」とお伝えば良くなりますか?」  
「障害自体が軽減するように、こういった施設や病院などで機能訓練を行なう必要がありますが、それ以上に日常生活の中で積極的に身体を使うことの方が大切です。このような施設に通わなくても充実した生活を送るために通つて下さい。リハビリに通っているだけで満足してしまい、家では寝てばかりいるような生活にならないように注意して下さい。」  
と答えていました。

こういう書き方をすると怒られてしまうかもしれません、週に1、2回通所リハビリに通つて、運動をしたり、職員や仲間と一緒に会話をすることは『生活の一場面』としては良いのですが、それだけで機能が回復するかは・・・? 通所リハビリは在宅生活をする上で『必ず



## 訪問看護ステーション星が丘の新管理者として

富田 浩美  
所長

必要なもの』ではありません。日頃の活動的な日常生活が充実している上で、さらに上乗せの形で通所リハビリが行なわれることが回復改善へ繋がるものと考えます。

当施設は利用者様がご自宅でより快適に、より自分らしく、より安全に生活して頂けるよう、利用者様それぞれにご自分に合った目標を立て頂いた上で、病気の症状に合った運動や日常生活動作練習等を提供し、一つでもご自身で出来ることを増やすお手伝いをしています。また、運動だけでなく、皆様と一緒に行うレクリエーションや頭の体操等を通して心身機能の維持回復を図り、当施設で獲得された日常生活動作を自宅に持ち帰つて頂くサービスです。

3月11日に発生した東日本大震災により、亡くなられた方々に対する心よりご冥福をお祈り申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈りければと思います。

訪問看護ステーション星が丘では、阿部フミ前看護部長が還暦を迎えた事を機に管理者が交代し、今年4月より新体制で稼動しています。スタッフは、今年度卒の看護師を迎えて保健師(訪問看護認定看護師)1名、看護師8名、P.T.とOT各1名の合計11名が在籍し、阿部前看護部長は現在も星が丘で活躍しています。さて、新米所長の目線で星が丘のスタッフ全体を見渡しますと、皆訪問看護が大好きで利用者様の立場に立った看護を提供しており、とても心強いスタッフに囲まれている事を実感します。訪問看護では対象の年



の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向

O m s o r g(オムソーリー人間愛)

の精神のもと、患者、利用者とバランスのとれた人間関係を築き、安心され信頼され喜ばれる病院、施設づくりを追求する。を共有しています。

1年間に、30人前後が白楽園から沼尾病院に入院し、逆にほぼ同数が沼尾病院から白楽園に入所しています。看護師及び介護士が、どちらかの施設の人員が不足する場、臨時に派遣されています。

このように、利用者のみならず、職員の交流があります。2年間の経験を基に、今後さらなる両施設の連携の強化に努めたいと思います。

沼尾病院においては、以前と同様、入院患者の診察、内科外来、訪問診療、地域包括センター、感染対策委員会、検査適正化委員会等の活動に参加致します。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ致します。

沼尾病院と白楽園は、開設法人は異なりますが、関連施設です。基本理念①医療、福祉の分野で社会へ貢献するという使命を持った非営利組織であり、事業の継続・発展のために努力する。②地域におけるオンラインリーワンの病院、施設を目指す。③徹底した患者、利用者指向</

## ケア工房 野の花の 新管理者として

**岡田 ケイ**  
管理 者

この度、ケア工房野の花の管理者に就任いたしました岡田です。

平成13年4月に当事業所に入職しまして早いもので10年の月日が流れました。毎回心がけておりますのは初回訪問時に不安を抱えた利用者様やご家族様が少しでも笑顔を見せいただけるようなど提案をすることです。

「私が何ができるか?どこにつなげるか?」10年経過した私に常につきまとう大きな課題です。

「ケア工房 野の花」の名前には利用者様のそれぞれの人生、生活を多種多様な花にたとえ、おひとり、おひとりの異なる人生を尊重しながらこれから的人生を創造してゆくライフケアデザイン事務所という思いがこめられています。今後もつけられた名前に恥じない支援を継続してゆきたいと考えております。

さて当事業所は開所以来初めて、常勤3名、非常勤1名の女性スタッフ

## ヘルパーステーション ぬまおの新管理者として

**今村 久子**  
管理 者

成13年4月1日に開設して丸10年を迎えた。開設当時は介護保険制度が利用者にまだ理解されておらず、ヘルパーの存在が家政婦同等と解釈された方が多く、利用者・ヘルパー共に様々な葛藤がありました。

それも時代の流れでようか利用者の制度に対する理解とヘルパーのできること、できないことをはっきり伝える確固たる姿勢のもと現在は落ち着いております。入職して早10年になろうとしておりますが振り返ってみるとみると考え深いものがあります。数え切れないほどの利用者との出会いで苦慮したことでも度々、逆に学んだことも数多く。利用者の数だけ内容も異なりそれぞれの人生歴、生活歴に合わせた支援やコミュニケーション術など日々緊張の中、へ

フのみの事業所となりました。医療職、介護職各々の基礎資格を活かした専門性の高いサービス、総合センターという所属機関を活かしたチームワークで利用者様の笑顔が見られます。支援を今後も提供してまいります。

ルパー同士切磋琢磨しながら現在に到っております。介護保険の情勢が厳しい昨今、10年という歳月を無事存続できたのは職員が打たれ強い精神力を持ち又、何よりも利用者を思う心の賜物と思っております。1対1の支援で泣いたり、笑ったりの仕事ですが利用者から頂く「ありがとう!」「助かっています!」の言葉はやりがいを持ち「この仕事をやつて来て良かった」と感じられる瞬間です。東日本大震災後、心身ともに体調を崩され入院・入所が続いている現状ですが臆することなく大切な利用者と素晴らしい職員とともに今後も精進して行きたいと思います。

## 地域包括支援センター きよすみ

**武田 安子**  
看護師

宇都宮市の委託事業でH18年度の介護保険制度の改正により在宅介護支援センターから名称変更をしました。

地域包括支援センターきよすみは、昭和・戸祭地区の皆様が住み慣れた地域で安心して過ごす事が出来るように、包括的および継続的な支援を行う地域包括ケアを実現するための中心的役割を果たす事が求めら

れています。

「地域包括ケア」とは、安心して尊厳あるその人らしい生活を継続する事が出来るように、介護保険のみならず、そのほかのフォーマルやインフォーマルな多様な社会資源を利用できるように、包括的および継続的に支援する事です。

そして今、地域包括ケアが求められる理由として①少子高齢化②要介護(支援)認定者の増加③独居・高齢者世帯の増加④認知症の増加⑤家族支援の低下⑥地域での支えあい力の低下⑦ニーズの多様化・変化が問題と考えられます。その様々な問題を解決出来るよう保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種が位置づけられ、専門知識や技能を互いに活かしながら、チームで活動し地域の方たちへのネットワークを構築しつつ、個別サービスのコードネイミングを行って幅広い業務を行っています。

また、1ヶ所で相談からサービス調整までに至るまで、ワントップサービスの窓口機能を果たしていく事も大きな安心の提供につながっています。

「困った時には何でも地域包括支援センターきよすみに相談してください」を合言葉に周知活動を行っていると考えられます。

今後も地域の皆様のために活動して行きたいと思っております。

## 認知症対応型共同生活介護 グループホームカトレア

管理者 阿久津 哲

### 地域密着型 サービスとして

認知症対応型共同生活介護サービスは、平成18年の介護保険法一部改正により、「地域密着サービス」という新しい類型に分類されています。

元々、広域にすべての方が利用できることが介護保険法の基本理念であります。しかし、法改正後は地域密着サービスは基本的にサービス事業所の立地している市町村の方のみ利用できる形となりました。

その大きな理由としては、認知症対応型のサービスの場合、認知症の方の住み替えによる心身への弊害を減らすには、なるべく住み慣れた馴染みの地域から離れない事の利点に着目していることが挙げられます。

住み慣れた地域の範囲がどれくらいの場合は、個々人とつて異なりますので一概には言えないかもしれません

せんが、自宅からそれ程離れていないといふ安心感は、認知症の利用者にとっても大切な一面を感じる事も多くあります。

地域に密着するという点については、制度とは別に施設が地域の中の居所・住居として自然に存在することも重要です。星が丘の住宅地に溶け込む施設の外観は、ここが介護施設であることに気がつかない方も多くいます。

居所に近いことを目指すグループホームにとって成果のひとつと自負しています。更に、利用者様の日々のお散歩などは、近隣の方々との交流のきつかけとなり、都市部にありがちな、事業所の地域孤立を防ぐことにつながっていると考えます。

2か月に1回開催している運営推進会議では、地域の代表者の方々にご参加いただくことで、より開かれ当事業所として、地元との連携が図られているよう、今後も努力していきたいと考えます。

### 外出活動の大切さ



介護主任 大島 俊恵

介護の必要な高齢者の方は、どうがちです。カトレアのようなグループホームは、施設の建物 자체が大きくなりませんので、室内での行動範囲にはどうしても限りがあります。このようなことから、室内のみの日々が続くと、それがストレスとなつて現れることがあります。

### 暮らしのひとこま

介護副主任 大塚 尚子

利用者様の中には、時々調理をお手伝い下さる方がいます。その時はまさに主婦のお顔。包丁を持つ手も熟練の技です。



一般的な生活と同様に、外へ出掛け

る・おもての空気に触れるといふことが気持ちの安定に大切なだと実感することがとても多くあります。

カトレアでは、日々のお散歩の支援の他に、少人数のグループで市内外の公園へ出掛けたり、年に1回程遠出をしたりと、外出の支援に努めています。外出時の利用者様の明るい表情には、私たち職員も大変癒されます。

カトレアでは、日々のお散歩の支援の他に、少人数のグループで市内外の公園へ出掛けたり、年に1回程遠出をしたりと、外出の支援に努めています。外出時の利用者様の明るい表情には、私たち職員も大変癒されます。

# はくらく

omsorg

第18号 社会福祉法人 宝生会  
老人保健施設 白楽園

## 白楽園の施設長 就任にあたつて

施設長 池之内 力

月日の流れは早いもので、2年ぶりの白楽園の施設長をこの度拝命いたしました。前回は板澤先生の後を引き継ぎ、施設長不在の不安定な中での私の施設長の拝命にて、職員の期待も高く、私もよい経験ができたと思っていました。今回は、並木施設長が2年間施設長として尽力された後で、だいぶ白楽園の職員も皆成長してきていると感じています。

さて、今回の東日本大震災で、多くの尊い命が失われ、また多くの方々が現在も避難生活をなされている所ですが、私たちも一時は、停電やガソリン不足、食料不足などを経験し、日頃あたりまえに手に入る物が入らないくなつた時の不便さを経験して初めて、その有り難さがわかつたかと思ひます。私も、震災から7日間は、沼尾病院の当直やらに泊まり込み、真岡市の自宅に帰らずやり過ごしました。病院で電気や食料が手に入る事がこれほど有り難いことであるかがわかりました。白楽園や沼尾病院に入院、入所している方は、大切な健康や体の自由という、もつとあたりまえの物さえ失

われ、さぞや失意のなかから今に至っていることでしょう。そして今、入院入所している方々は、白楽園や沼尾病院のすべての職員のおかげで、いかに安心して過ごされていることかと、私も思い巡らせているところです。

また、福島第一原発事故で思うことは、私たちは、これからエネルギーの使い方を節約しなければならないことではないでしょうか。以前から地球温暖化の問題で、エネルギー問題は語られていますが、今ひとつ実生活に結びつかなかったせいもあり、私もピンときませんでした。エネルギーの使い方が変わると、少しすつ生活の常識、価値観も変わる世の中になるのでしょうか。

今後15年にわたり、65歳以上の高齢者は増え続け、さらに今後30年にわたり、死亡者数は増え続けます。元気なお年寄りが増える一方、身体的、金銭的、家族的な格差も広がり、多様な高齢者が増え続け、私は、高齢者に対する常識や価値観も少しずつ変化していく様に思います。少子高齢化の変化と、世の中の常識や価値観と言つた一見普遍的なものの変化に关心を持つた方々と共に、より安心で生きる白楽園や沼尾病院を作り上げて行きたいと思います。今後とも宜しくお願ひいたします。

## よろしくお願ひします

一般棟主任 大橋 真弘

この度、4月より一般棟主任として働いております大橋です。私は入社して今年で12年目を迎えます。この間、一般棟、認知症専門棟での介護の経験を経て、施設ケアマネージャーとしても5年間従事してまいりました。

今年度の一般棟の目標としましては、御利用者の日常の生活自立度を高めていくことで生活の質を向上し、御利用者・御家族からの満足度を満たしていくこと、さらに入所期間中は安心・安全で快適に過ごしていただけるよう、日々の様子に注意していくことに設定致しました。御利用者・御家族からの満足度を得るために、職員の質も高めていく必要があります。特に接遇教育に力を入れ取り組んでいきました。

就任後はプレッシャーもあり忙しい日々を過ごしておりますが、新たな気持ちで楽しく仕事に取り組むが出来ています。御利用者・御家族には何かと至らない点もあり御迷惑をおかけすることもあると思いますが、一般棟職員全員で目標を達成し、ご期待に添えるよう頑張っていきますので、今年度もよろしくお願い致します。

## 昨年を振り返つて

支援相談員 橋本 匡夫

昨年入社致しまして、白楽園は明るい施設だと感じたのが私の第一印象でした。それは、明るく元気な職員が多く、十九年前に建てられた施設と思えない程、綺麗に維持されていたからでした。また、この建物の構造も珍しい一周百メートルの回路式で日当たりも良く、入所のご利用者やデイケアのご利用者が職員と楽しく会話をしながら活き活きと歩行訓練をされる姿が見られます。

次に感じたのは、職員体制の充実でした。常勤の医師の他に、自治医科大学より神経内科の先生、協力病院の沼尾病院より先生方が診療に来ていただいている、また、理学療法士等常勤7名体制で、個別リハビリ、県内初のパワーリハビリを実施しており、その他、多くの国家資格取得者が勤務されている点でした。

入社した当初は、目の前の業務に一杯で職種間の連携がほとんどできなかつたのですが、一年経つて徐々に連携がとれるようになつたと感じております。

今後、支援相談員としてより各職種の業務をより理解し、職種間連携のもとに各ご利用者の日常生活自立度の向上や快適な入所生活を過ごしていただきたいと努力していきます。今後とも宜しくお願い致します。

## 平成二十二年度 行事風景



### 毎月行事 年間行事予定

誕生会	二月	二月	三月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
隔週書道・手芸クラブ	二・三階(第二水曜)	二・三階(第二水曜)	二階(木)三階(金)	二階(木)三階(金)	二月								
クリスマス会	もちつき会	もちつき会	クリスマス会	クリスマス会	お花見外出	菖蒲湯	七夕会	七夕会	納涼祭	敬老会	運動会	柚子湯	運動会
10/23 運動会競技前の準備運動風景													

## 通所リハビリテーションのよろこび

主任 上原 克騰

当施設の通所リハビリテーションでは基本的に、退院後の継続した状態維持のために、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等が中心となり専門的なリハビリテーションを提供しております。以前は女性の高齢者の方が利用されることが大半でしたが、法改正とリハビリによる更に充実した生活を求める時代のニーズも変わります。

利用者様との日々の関わりの中で、体の動きが少しずつ良くなつていくなど、その変化を実際に見ることがでても多く、40代の方から上は102歳の方まで、楽しくリハビリをしていました。

利用者様との日々の関わりの中で、体の動きが少しずつ良くなつていくなど、その変化を実際に見ることがであります。

ケアマネジャーの仕事内容は、ご家族の意見を参考に計画作成会議を実施し、その方が『らしく』生活との両立で、日々業務に追われている毎日です。

ケアマネジャーの仕事内容は、ご家族の希望を伺い、各職種の意見を参考に計画作成会議を実施し、その方が『らしく』生活していく為の目標を立て、施設での利用者様との日々の関わりの中で、体の動きが少しずつ良くなつていくなど、その変化を実際に見ることがであります。

利用者様とその日々の関わりの中で、体の動きが少しずつ良くなつていくなど、その変化を実際に見ることがであります。

利用者様との日々の関わりの中で、体の動きが少しずつ良くなつていくなど、その変化を実際に見ることがであります。

時代とともに求められるものは変化していくますが、今後も利用者の声に耳を傾けることを大切にして、日々努めていきたいと思います。

## ケア・マネージャーとして1年を振り返つて

一般棟 渡辺 泰久

私が、昨年4月『ケアマネージャー』の職に就き、早いもので一年経ちました。現場の介護とケアマネージャーとの両立で、日々業務に追われている毎日です。

ケアマネジャーの仕事内容は、ご家族の希望を伺い、各職種の意見を参考に計画作成会議を実施し、その方が『らしく』生活していく為の目標を立て、施設での利用者様との日々の関わりの中で、体の動きが少しずつ良くなつていくなど、その変化を実際に見ることがであります。

ケアマネジャーの仕事内容は、ご家族の希望を伺い、各職種の意見を参考に計画作成会議を実施し、その方が『らしく』生活していく為の目標を立て、施設での利用者様との日々の関わりの中で、体の動きが少



## 医療法人社団 洋精会



平成23年4月開設

**所在地** 宇都宮市星が丘1-7-26  
**TEL:** 028-689-9901  
**FAX:** 028-678-9933

**よしのいえ**  
(小規模多機能型居宅介護)



昭和13年7月開設 **所在地** 宇都宮市星が丘1-7-38  
**TEL:** 028-622-2222  
**FAX:** 028-624-2228

**沼尾病院**

平成8年11月開設

**所在地** 宇都宮市宝木本町2141-5  
**TEL:** 028-665-6511  
**FAX:** 028-665-6311

**ぬまお内科**

**外来診療**  
 内科・外科・循環器内科・胃腸内科  
 皮膚科・肛門内科・整形外科  
**入院施設** 医療・介護療養病床  
**通所リハビリテーション**  
**訪問看護ステーション** 星が丘  
**療養通所介護センター** ほし  
**ケア工房野の花** (居宅介護支援事業)  
**ヘルパーステーションぬまお** (訪問介護)  
**地域包括支援センター** きよすみ

## 社会福祉法人 宝生会



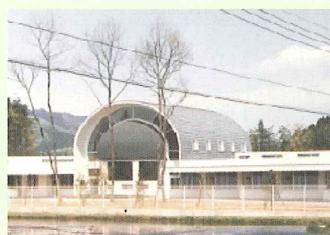
平成16年4月開設

認知症対応型共同生活介護

**所在地** 宇都宮市星が丘1-1-28  
**TEL:** 028-650-7345  
**FAX:** 028-650-7346

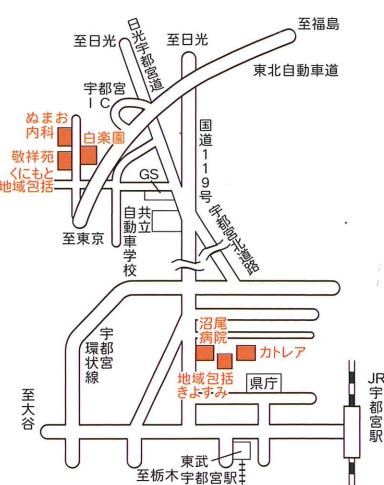
**グループホームカトレア**

**介護老人福祉施設**  
**短期入所生活介護**  
**訪問介護**  
**通所介護**  
**居宅介護支援事業**  
**生活管理型短期宿泊事業**  
**生活支援型ホームヘルプ**  
**生きがい対応型**  
 デイサービス  
**配食サービス**  
**地域包括支援センター**



昭和62年4月開設  
**所在地** 宇都宮市宝木本町2141  
**TEL:** 028-665-5633  
**FAX:** 028-665-5635

**特別養護老人ホーム敬祥苑**



**介護老人保健施設**  
**短期入所療養介護**  
**通所リハビリ**  
 テーション  
**居宅介護支援事業**  
**訪問リハビリ**  
 テーション



平成4年4月開設  
**所在地** 宇都宮市宝木本町2140-2  
**TEL:** 028-665-7171  
**FAX:** 028-665-7177

**老人保健施設白楽園**

**洋精会・宝生会施設及び事業について**